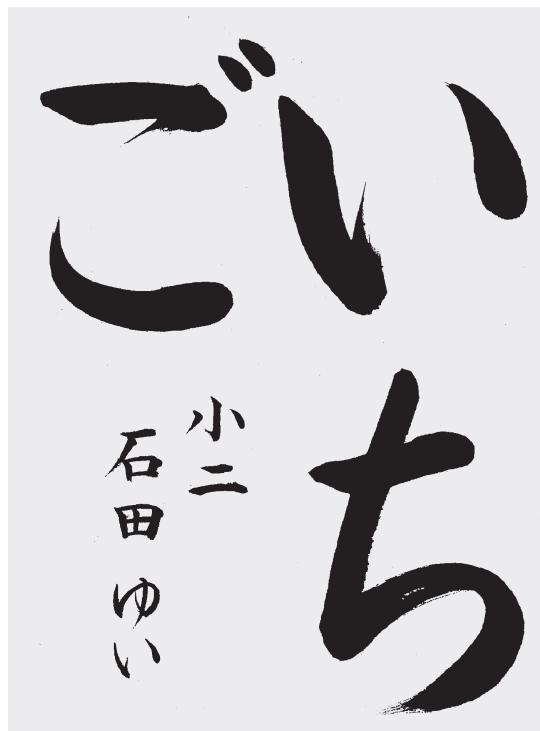


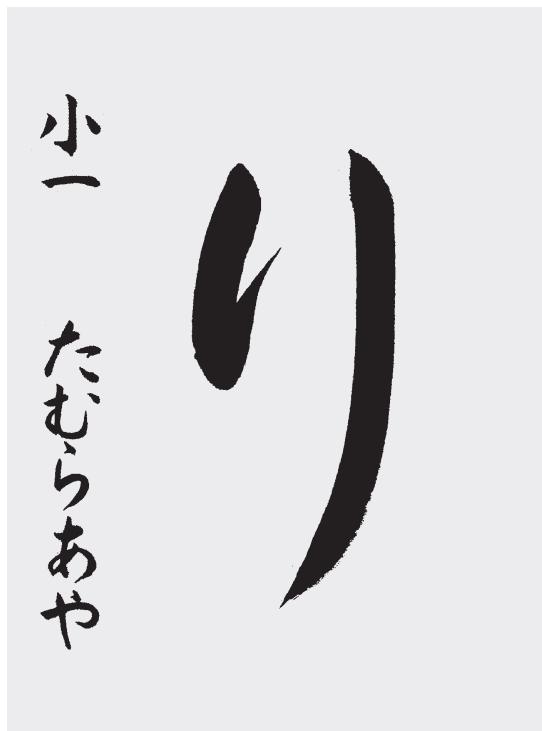
〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

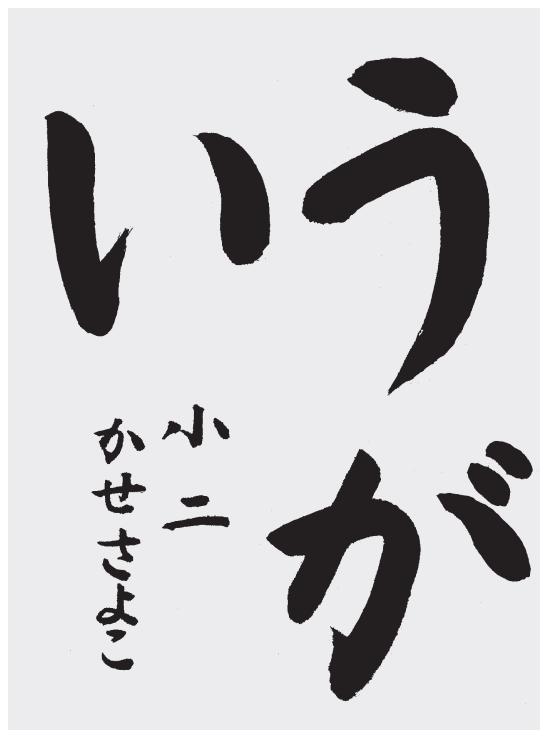


川村 美泉 先生

幼・小学1年参考手本



佐藤 菜扇 先生



加瀬 澄春 先生



島田 白露 先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

走者

小四
木下駿

最首翠風先生

小学3年参考手本

小石

小三
松山紀子

田村鄭雲先生

小四

い出会

平岡新奈

橋本玉扇先生

日けづ

小三
林あや

一谷春窓先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六
友情

辻元大雲先生

小六
の宇宙
旅宿

小竹石雲先生

小学5年参考手本

小五
尾形崇

地
球

尾形澄神先生

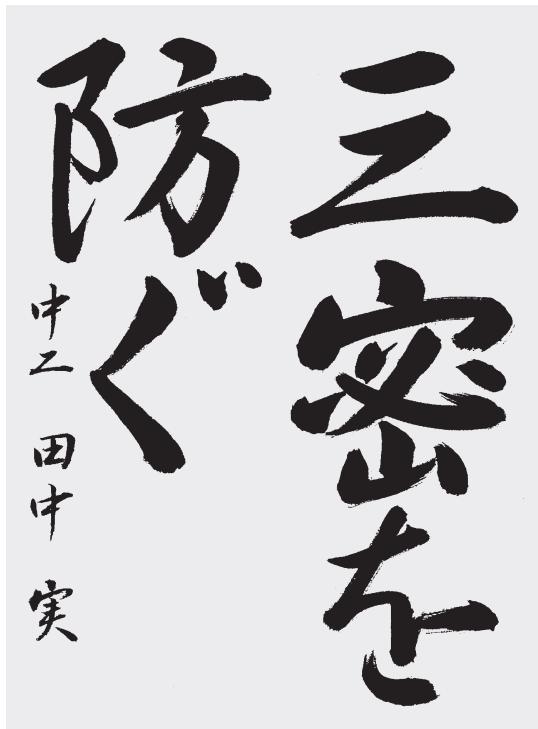
え
芽
生

小五
山本花子

片岡豪峰先生

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

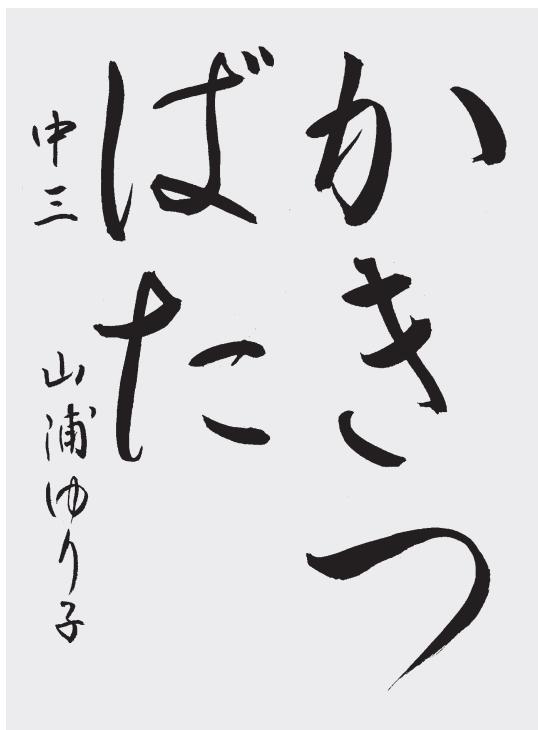
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



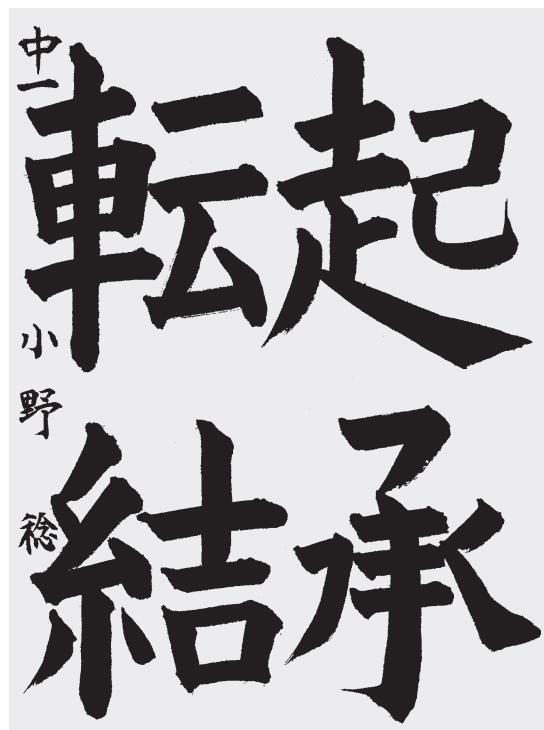
広瀬舟雲先生



名越蒼竹先生



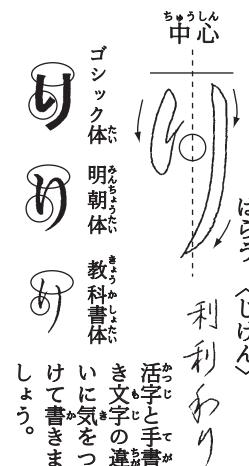
石井明子先生



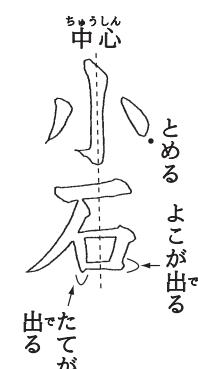
半田藤扇先生

毛筆参考手本解説(1)

1年



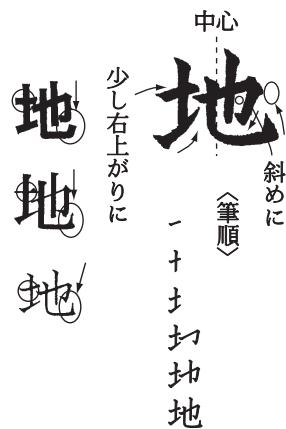
3年



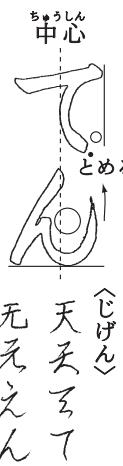
4年



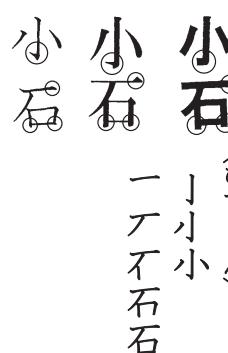
5年



2年



てん てん てん



中心



〈筆順〉
一十中出出

中心

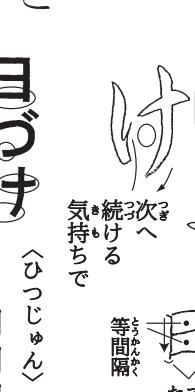
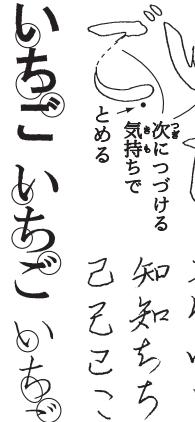


〈筆順〉
一土キキ走走

中心



〈筆順〉
一土キキ走走



一ノ次²へ
等³間隔⁴
すい直⁵に
たて画が出る

いち いあ いあ
いあ いあ いあ

日づけ
日づけ
日づけ

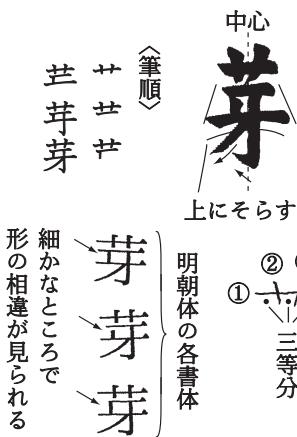
一ノ日¹
日²日³

いう か
いう か
いう か

宇¹宇²宇³
宇⁴宇⁵宇⁶

うがい うがい うがい
うがい うがい うがい

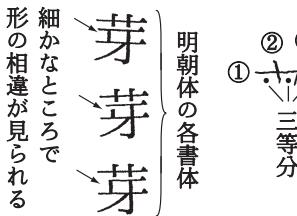
加¹加²加³加⁴加⁵加⁶
以⁷以⁸以⁹以¹⁰以¹¹以¹²



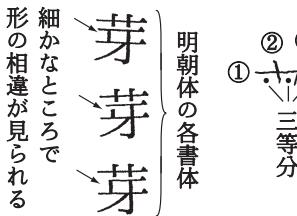
① ② ③
三等分



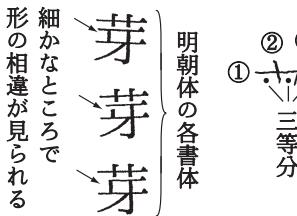
① ② ③
三等分



① ② ③
三等分



① ② ③
三等分



① ② ③
三等分



少しそらす

〈筆順〉
ノヘム今会会

人の中に横画を
入れる



字形



少しそらす

細かなところで
形の相違が見られる

ノヘム牛牛生

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

払いに氣をつけて
書きましょう

許容 己止め

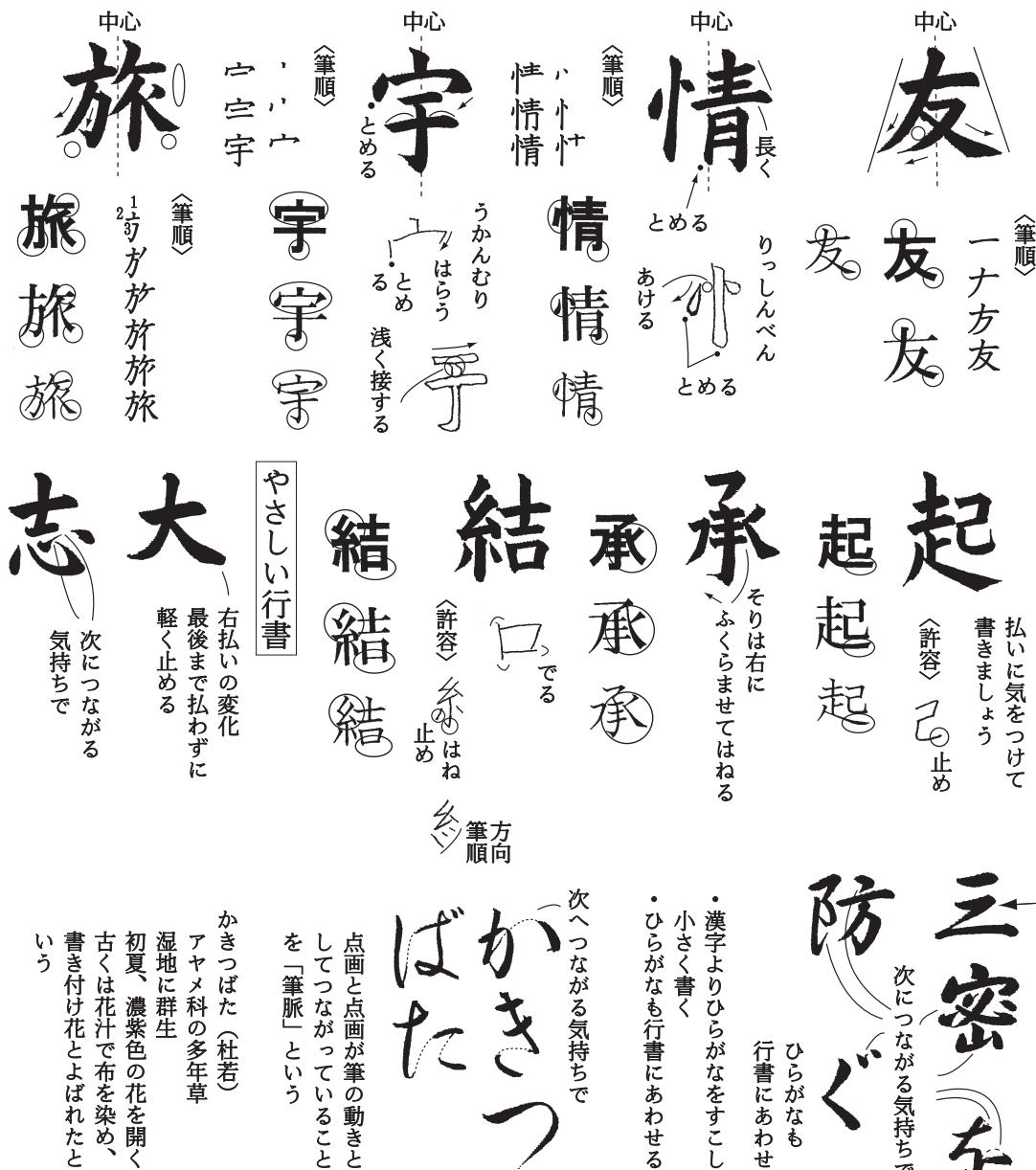
点画の連続

三密

防ぐ

(354)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載



ひらがなの字源

(354)

源字	字形
た	は
太	波

源字	字形
つ	川
は	は

源字	字形
き	幾
か	か

* 源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※ 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

かきつばた (杜若)
アヤメ科の多年草
湿地に群生
初夏、濃紫色の花を開く
古くは花汁で布を染め、書き付け花とよばれたといふ

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

支部名	を	メ
段・級	か	モ
学年	き	を
二	ま	も
名前	し	と
小出れな	た	に
	。	作
		文

支部名	を	み
だん・きゅう	う	ん
がくねん	た	な
一	い	で
なまえ	ま	う
すどうかんだ	す	た
	。	



左はらい
右はらい



とめる



余白に気をつける

漢字を正しくととのえて書きましょう。

六画・七画目は
四画目よりやや短く

余白に気をつける

『うた』
み・な・ま・すのむすびをたやすくかきましょう。
『文』
漢字と手書き文字の違いに気をつけ
て書きましょう。

『作』
活字と手書き文字の違いに気をつけ
て書きましょう。

『おれ』
おれ
とめ
むすび
まげすぎない
みじかくはらう

『す』
す
とめ
むすびを大きく
みじかくはらう

『な』
な
明朝体
明朝書體
な
ゴシック体
ゴシック書體

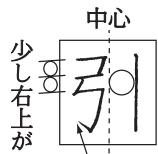
[5月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名				
段・級				
学年				
四				
名前	岩見桜子	きまし た。	ら赤か ぶを引 きぬい て	グレ ー テルは 、 畑か

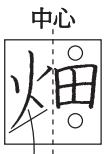
支部名				
段・級				
学年				
三				
名前	立花登	大きな花をそ かせた。	池のすいれんは	



中心
少しこの方向に注意
はねる方向に注意



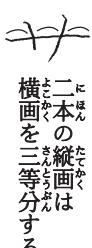
中心
下部の点画は等間隔に
上にそらす



中心
三画目を最大幅にし
左払いは中間部分まで垂直に

筆順

『赤かぶ』
漢字・カタカナを正しく整えて書きましょう。



二本の縦画は
横画を三等分する



じけい



おれではねる
「ひつじゅん」
のからだち

江浦池

『すいれん』
「池」「花」の組み立てに気をつけて正しく
書きましょう。

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	番組を作ろう。	り上げて、学校放送の	身近なことからを取
段・級			
学年	六		
名前	宮下舞子		



文字の中心に注意して
バランスよく書きましょう。

送

放

【学校放送】

一度止めてはらう
「方」の筆順に注意
（筆順）

明朝体

漢字とひらがなをつりあいよく書きましょう。

送 放

支部名	コがある公園でした。	は、団地の中のブラン
段・級		
学年	五	
名前	鈴木奏音	



たて画
少し出る

「へん」と「つくり」
の組み立てに注意。

線の方向に気をつけて
少し出る



（筆順）

三・五画目の終筆を少し出す
明朝体 出 活字と手書き文字
の違いに気をつけ
て書きましょう。

『友だち』
漢字はひらがなより少し大き目に書きましょう。

〔5月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	「國破れて山河在り、城春に して草木深し」は、中国の有名 な漢詩「春望」の一節。 大貫 美帆
段・級	
学年	
中二	
名前	
大貫 美帆	

支部名	「國破れて山河在り、城春に して草木深し」は、中国の有名 な漢詩「春望」の一節。 大貫 美帆
段・級	
学年	
中二	
名前	
大貫 美帆	

〔簡単な行書〕

・次の線につながる気持ちで連続する。

國 破 れ て 山 河 在 り 、
城 春 に
し て 草 木 深 し

※ひらがなも漢字にあわせてつながる
気持ちで書く。

れ し て は な

〔春望〕
行の中心がゆがまないように書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

令和3年6月号～11月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5	
付 結	
近 び	ス
しつ	ズ
かき	メ
住 が	は
ん 強 、	、
で く、	人
い 、	間
な い。	と の 家

幼・小1	
る	
が	い
い	け
ま	に
す	は
す	あ
。	ひ

小 6	
に 城	
の を	私
び 中	た
て 心	ち
い の	の
ま し	し
す て	の
。 放	道
射 路	は
状 状	は

中学生	
平 成	群 馬
二 十 六 年	県 の 富 岡 製 糸 場
に 登 錄 さ れ ま し た。	は 、

6月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小1	締切日
貢 地域 献 に	花 束	天 気 図	若 者	雨 水	川 上	ピ ン	と
こ と り	研 究 発 表	節 電	仕 上 げ	あ じ さい	タ イ ヤ	か え る	つ の
季 太陽 節 の	知 惠	夏 至	開 会	雲	た な ば た	ほ た る	す
夢の跡 兵どもが	選 手 宣 誓	ソーダ水	自 由 形	天 の 川	手 あ ら い	う き わ	あ さ
希 生きる	神 秘	ガラス玉	登 场	月 夜	工 作	ゆ か た	め
ぐ れ み し	天 体 觀 測	達 成	右 は ら い	花 火	か き 氷	さ な ぎ	せ み
虫 鳴 く 夜	交 流	防 災	満 月	秋 風	星	え い が	よ
え し み な	不 言 實 行	敬 老 の 日	ポ 斯 特 ア	大 海	王 さ ま	み の り	う み
の 秋 晴 れ	趣 味	調 査	主 人 公	区 間	十 月	川	か
か ふ ま じ ば	宇 宙 開 発	演 奏 会	金 魚	研 究	白 玉	ぶ どう	や ぎ
実 努 力 は	能 筆	晚 秋	大 使 館	成 長	光	メ ロ ン	ゆ
が も り み じ	公 平 無 私	貿 易 港	ワ ク チ イ	文 化	き ず な	は れ	は れ

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第50回 封筒の書き方2（メの成り立ち）

前回、パソコン内の活字から、「メ」と「フ」について述べましたが、今回は、この「しめ」について、もう少し深く探っていこうと思いま

す。

この「しめ」は、マークではなく漢字であることを知っていますか。「メ」は、中国で作られた漢字ではなく、実は、日本で作られた漢字（国字）であつたのです。日本で最も多くの漢字を収録した諸橋「大漢和辞典」で調べてみました。ここには、一般的な辞書には無い珍しい漢字もたくさん掲載されています。この中の「メ」字の項目を引くとその右側に「メ」のような漢字が掲載されています。これは片仮名ではなく「ゴ」と読む漢字で、漢字「五」の古字と記されています。封筒に「しめ」と書いたつもりが誤って「メ」とかくと、「片仮名のメ」と、もう一つ「漢字のゴ」ともなってしまうことが判りました。

「しめ」字は、この辞典でもきちんと一画目の終筆を「メ」のように撥ねて記されています。この「しめ」字の成り立ちについて「トの字の崩れたもので、居をトひ、之を占める意を假り用ひたもの」と記していますが、これを分解してわかりやすく訳すと、(A) ト（占うの意味）という漢字を崩したもの：一画目を斜め左下に向けて速書きすると確かにメ字に近似。(B) 「ト」は「占」と同じ意味の漢字なので、「占」

字の持つ「しめる」という意味をかりて用いた。となります。

この漢字が、古代中国で生まれたものなら、この説に合点がいきます。しかし、この漢字は日本で作られた国字です。古代中国の習慣を参考に盛り込んだとも考えられないこともあります。せんが、こんなに難しいことを考えて日本人が作ったものだらうかと考えます。①「メ」字は紐などを結んだりして、しめるという形をかたどつたもの。②「シメ」の「メ」の字形を変化させて「しめ」の意味の漢字としたもの。と考える方が近いのではないかと考えます。

(つづく)

[人] 117	字國 に用ひる。	[メ] 116	●しめ。トの字の崩れたもので、居をトひ、之を占める意を假り用ひたもの。①合せたしめ高。合計。しめ。 ②半紙の一メは十束、即ち百帖。③手紙などを封じた上に記す字。●して。爲の字の省書き草書。	[X] 115	ゴ ●五(1-254)の古字。 號の韻符の一。單母韻。舌後部を上升して軟口蓋に接近させ、口を開ぢ、脣を收縮させて圓形にし、舌體の筋肉を稍々緊縮して、恰かもうとオとの中間位に發音する。い。正形はメ。
-------------------	-------------	-------------------	---	-------------------	---

諸橋「大漢和辞典」より

今月のホープ



ていねいな筆使いで、すっきりと明るい作です。全体のバランスもよく、名前も気持をこめて書いて立派です。

小六 白戸麻絢 (治田書支部)



筆遣いが正確で太く、明るい作品に仕上りました。始筆、終筆が見事で安定感あり、名前も上手です。

小四 下嶽凜華 (土氣書支部)

支部名	月華社
段・級	特待
学年	中三
氏名	鈴木采紗
支部名	
段・級	
学年	
氏名	

「三月を弥生」という。「弥」はますます、「生」は生えるつまり草木がだんだん芽吹く月の意である。

中三 鈴木采紗 (月華社支部)

行書の特長をしっかり捉え、流れのある心地良い、穏やかな仕上がりです。群を抜く美しい作品に拍手を送ります。

支部名	福山
段・級	四上
学年	五
氏名	平尾和大
支部名	
段・級	
学年	
氏名	

「今日の午後、文部科学大臣が答弁した。」

マス一杯に太く力強い線質で名前まで見事に仕上げました。堂々とした作品に魅了されました。

小五 平尾和大 (福山塾支部)

<お知らせ>

新中学1年生の新段・級は、下記の表のとおりです（ご確認ください）。

6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新段・級
3 級	4 級	初 段 上	優 級 上	特 待 生	二 段
4 級	5 級	初 段	優 級 上	準特待生	初 段 上
5 級	6 級	準 初 段	優 級	五 段 上	初 段
6 級	7 級	秀 級 上	優 級	五 段	初 段
7 級	8 級	秀 級	特 級	四 段 上	準 初 段
8 級	9 級	優 級 上	特 級	四 段	準 初 段
9 級	10 級	優 級	1 級	三 段 上	秀 級 上
10 級	10 級	特 級	1 級	三 段	秀 級 上
		1 級	2 級	二 段 上	秀 級
		2 級	3 級	二 段	秀 級

◎出品に際してのご注意◎

- システムの都合上、幼稚園・保育園生全員が新1年生の出品券になっていますので、「昇級試験受験一覧」にて学年の訂正をお願いします。
- 4月提出の競書は新学年の課題を書いてください。

◇登録用紙◇

令和	年	月	日
----	---	---	---

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月15日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

書道芸術学生版

春季昇段級試験規定

• • 硬筆

一、しめきり日 5月6日(木)

一、発表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生とり(かいしょ)
"二年生えび(かいしょ)
"三年生山里(かいしょ)
"四年生決定(かいしょ)
"五年生花粉(かいしょ)
"六年生太陽(かいしょ)
中学校一年生熱意(楷書か行書)
"二年生菜園(楷書か行書)
"三年生海峡(楷書か行書)

一、受験料 各部一点 500円

毛筆
硬筆
共 一人一点



一、書体

○小学生は楷書(かいしょ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

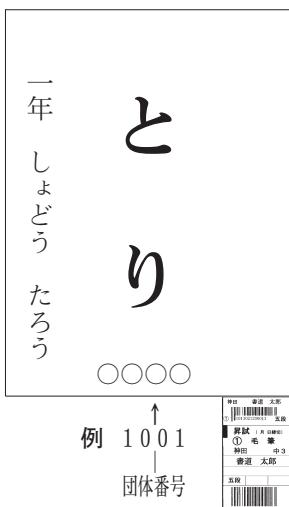
が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

(毛筆・硬筆共)



※5月号の購読部数を越える受験はできません。

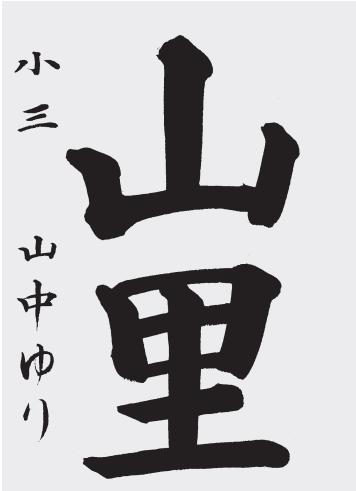
○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

○応募書類は4月下旬に6月号といっしょに、受験番号を記入した応募書類と「昇段級試験用」バーコード出品券を送付します。

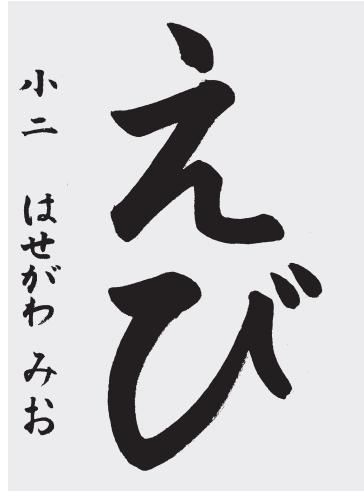
○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。

作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

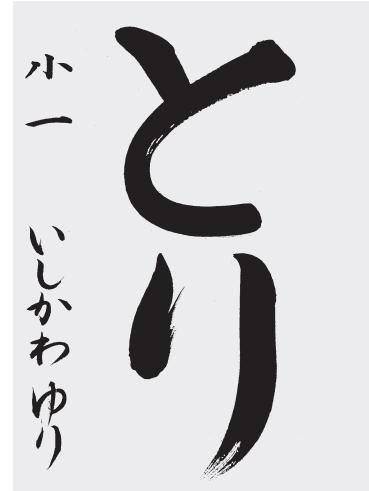
小学 3 年



小学 2 年



小学 1 年

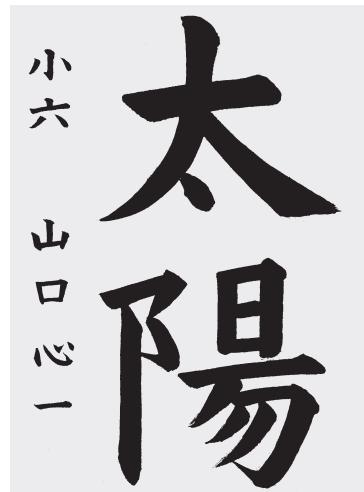


川島舟錦先生

名越蒼竹先生

川島舟錦先生

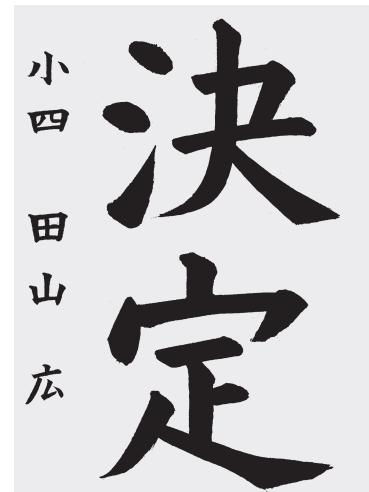
小学 6 年



小学 5 年



小学 4 年



廣瀬舟雲先生

名越蒼竹先生

廣瀬舟雲先生

楷書

中 学 3 年

中三道場亘

海 峡

中 学 2 年

中二 津山健男

菜 園

中 学 1 年

中一 高山剛

熱 意

行書

種 谷 萬 城 先 生

辻 元 大 雲 先 生

小 竹 石 雲 先 生

中三道場亘

海 峡

中二 津山健男

菜 園

中一 高山剛

熱 意

種 谷 萬 城 先 生

辻 元 大 雲 先 生

小 竹 石 雲 先 生

硬筆の部

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
例「ささき ゆめ」

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。

一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

一、課題（各学年用）参考手本通りに書く。
一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、課題

支部名				
段・級				
学年				
二				
名前				
大谷りょう	み が 來 ま し た 。	フ ラ ン ス か ら 手 が	し て あ そ ん だ 。	お に ご こ ー こ を

小学3年

支部名				
段・級				
学年				
三				
名前				
林 小百合	た の で 植 え か え た 。	葉 が 三 ま い に な つ	た の で 植 え か え た 。	葉 が 三 ま い に な つ

小学4年

支部名				
段・級				
学年				
四				
名前				
浅野光春	こ と を 知 り ま し た 。	市 章 を 調 べ て み る と	い ろ い ろ な 意 味 が あ る	こ と を 知 り ま し た 。

支部名	ツバキはもともと南方系の植
段・級	物ですが、暖かい海流のおかげ
学年	で青森県が北限となっています。
中三 名前	ツバキはもともと南方系の植
鳥谷 日向子	物ですが、暖かい海流のおかげ
で青森県が北限となっています。	で青森県が北限となっています。

支部名	は
段・級	シ
学年	ス
六 名前	タ
新井 希実	日
	本
	語
	の
	姉
	・
	妹
	の
	英
	語
	。

支部名	けを書くのではなく、
段・級	自分の考え方も加えよう。
学年	たただ経験した事実だ
五 名前	土屋ひなた
鳥谷 日向子	たただ経験した事実だ

(今月号に払込取扱
票を同封しました。)

ご注文は、専用
の払込取扱票にて、
前納でお申込みく
ださい。

春季昇段級試験
で硬筆の部を受験
される方は、
本院指定の用紙
(月例と同じ用紙)
を使用するか、も
しくは指定の用紙
をコピーして、原
紙の大きさにあわ
せて切って出品し
てください。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ③ 4・5・6年生用
② 2・3年生用 ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下(1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250
10冊以上のご注文は、送料無料。					

支部名	ツバキはもともと南方系の植
段・級	物ですが、暖かい海流のおかげ
学年	で青森県が北限となっています。
中三 名前	ツバキはもともと南方系の植
鳥谷 日向子	物ですが、暖かい海流のおかげ
	で青森県が北限となっています。

—令和3年度— 弘法大師奉賛

第55回記念 高野山競書大会案内

併催／第36回日中青少年友好交流競書大会

高野山競書大会に出品・協力を

高野山競書大会は本年55回を迎えます。皆さまご存知の通り、高野山書道協会は日本の全書壇を網羅し、弘法大師空海の遺徳を偲び、書道文化の育成奨励を目的として組織されました。本院としましてもこの趣旨に賛同し、例年多くの会員諸氏のご協力を頂いております。本年も多数のご参加を心よりお待ちしております。新しく出品希望の方は、高野山競書大会總本部までお問い合わせください。

○ 優秀作品展示

八月一日(日)～八月十五日(日)

○ 関東地区優秀作品展示

八月二十七日(金)～八月二十九日(日)

会場 東京・高輪 高野山東京別院

ー学生部規定ー

ー資格

幼児・小・中・高校生

ー用紙

半紙(縦書き)

ー課題

内容自由

一人十点まで

ー奉賛出品料

団体出品……一点 三五〇円

個人出品

……一点 五〇〇円

ー出品手続

指導者の指示にしたがって提出し、団体登録された書道会(教室)・学校ごとにまとめてます(個人出品は、直接大会總本部宛に作品と出品票を郵送してください)

◎ 出品締切日

五月十七日(月) 必着(学生部・一般部共)

中国の学童も参加

本大会は、日中青少年友好交流競書大会を併催しており、ここに第三十六回を迎えて、中国学童の作品もともに審査します。

○奉納法会

五月二十九日(土) 最終審査日

総本山金剛峯寺で「第五十五回記念高野山競書大会作品奉納

法会」を行い、出品者の書技向上と日本書壇の発展を祈願いたします。

全作品は奉納されますので、お返しきできません。

○表彰式 (新型コロナウイルス蔓延の影響により、変更になる可能性があります。)

八月六日(金)の予定 式場 総本山金剛峯寺

(金剛峯寺賞以上の受賞者を高野山に招待いたします)

作品・奉賛出品料送付先

〒648
0294

和歌山県伊都郡高野町高野山一三一 総本山金剛峯寺内

高野山競書大会總本部

振替〇〇九九〇一〇一三〇九一六
⑥〇七三六(五六)一〇一一(直)
(名義 高野山書道協会)

主催 高野山 総本山金剛峯寺

主管 高野山 総本山金剛峯寺

後援 高野山 総本山金剛峯寺

毎日新聞社・全日本書道連盟

高野町教育委員会・高野山住職会

高野山桜議会・高野山真言宗参与会

ー一般部規定ー [競書の部・献書の部に分かれる]

競書の部

大学生及び社会人

ー資格

大学生及び社会人

ー用紙・課題

出品手続の規定は学生部と同じ

ー奉賛出品料

団体出品……一点 七〇〇円

個人出品

……一点 一、〇〇〇円

ー

献書の部(一般の方が審査を受けずに参加できます)

ー

資格・用紙・課題・出品手続の規定は競書の部と同じ

ー

奉賛出品料 競書の部と同じ

- 献書された方には感謝状と記念品を贈呈。

6月号毛筆参考手本（予告） 6月8日締め切り分

幼・1年

かえ
る
小二
やまだゆうじ

ピン
小二
たかだわたら

2年

つの
小一
いとうかな

と
小一
いけだみさ

3年

あいじ
さ
小四
長田利一

雨水
小四
山口ゆき

4年

ヤタイ
小三
工藤和子

川上
小三
三浦洋子

5年

節電
節
小六
三浦洋子

天気
岡
小六
高木厚

6年

仕上
げ
小五
三浦洋子

若者
若
小五
小池哲平

中学

やまの
こどり
中三
松村光江

地域に
貢献
中三
矢田和奏

研究
発表
中一
江田美子

花束
花
中一
三浦洋子

毛筆参考手本

○3月11日、東日本大震災発生から10年の月日が経過しました。学生版の審査日で理事長の辻元大雲先生と審査に出席された先生がと地震発生の14時46分に黙祷を捧げました。まだ復興支援を必要とする方がたくさんいらっしゃいます。自分に何が出来るかを考えていきたいと思います。

○今月号から毛筆・硬筆解説で、常用漢字表の字体字形に関する指針（報告）をもとに手書き文字の字形と印刷文字の字形の違いについて解説を試みてみました。わかりやすい解説となるよう努力していきたいと思っています。ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

○指導者の先生方にお願いがあります。作品に添付して頂く出品券について、お手数はな気がしますが左、右、下の余白を切り離して添付して頂きたいと思います。最近、切り離していない券が多く撤入、審査の過程で余白がある場合手を止めて切り離しながら出品券の整理をしています。ご協力をよろしくお願いいたします。

○新中学一年生は新段・級の確認をよろしくお願いいたします。

(葉扇)